



大内中だより

きつきの丘

Webページはこちら→

令和6年8月29日  
第19号



## 新ALT ○○○○○○先生、大内中学校へようこそ！

夏休み前の本紙18号でお知らせしたように、夏休み明けから新任のALTとして○○○○○○先生をお迎えしました。○○○○○○先生は、前任の○○○○○○先生と同じアメリカから来日されました。簡単な日本語の会話ができますし、また、米国の教員免許をお持ちです。旅行で東京に来たことがあります、日本の文化に本格的に接するのは初めてだそうです。



### ○○○○○○先生の新任式でのあいさつ

はじめまして。私の名前は○○○○○○です。アメリカから来ました。よろしくお願ひします。  
Hello! It has been great to meet you all. You all have been very nice and welcoming. I am excited to see all the beautiful scenery and history that Japan has to offer. I hope that I can make learning English fun and interesting for you!  
英語の勉強、頑張りましょう！

## オリンピックでの選手、審判員等への誹謗中傷問題を考える

8月11日に閉幕したパリオリンピック。日本の活躍の一方で、選手や審判員等に対する誹謗中傷問題が大きくクローズアップされました。皆さんはこれらの報道をどのように捉えたでしょうか。

「誹謗中傷」なのか、それとも「批判」なのか。この二つの線引きは決して簡単ではありませんが、「敗者としての正しい振る舞いや姿はどうあるべきか?」「敗戦後の言動が試合進行の妨げになったのでは?」といった他者への配慮を促す指摘は必要だろうと考えます。

続いて審判員の判定ですが、競技の一瞬一瞬を人間が判断するものであり、いわゆる「誤審」をゼロにすることは難しいと思います。しかし、限りなくゼロに近づけるため、審判員は、複雑なルールを熟知し、研鑽を積み、あらゆる場面を想定しながら試合に臨んでいることを理解してほしいと思います。(試合後には審判ミーティングが行われ、必要に応じて各審判に指導や注意が与えられるのが通例です。)

大きな大会であればあるほど多くの映像が残りクローズアップされる課題ですが、本紙を読んでいた皆さんには、どのような競技や大会であっても、出場する選手、審判員等を含むその競技全体への尊敬・尊重(リスペクト)を常に忘れないでほしいと願います。

### 【栄光の記録】

- 第90回記念全県少年野球大会
  - 1回戦 大内 4-2 山本
  - 2回戦 大内 4-0 湯沢南
  - 準々決勝 大内 1-2 本荘南 (8回タイブレーク)
- WRO Japan 2024 決勝大会 in 富山
  - ジュニア部門 (エキスパート)
  - 予選敗退 大内 + time トリオ (○○○○、○○○○○、○○○○○)
- 科学の甲子園ジュニア秋田県大会 (決勝)
  - 敢闘賞 大内中学校 A (○○○○、○○○○、○○○○)
- 第51回東北七県珠算競技大会
  - 第三部 (中学生の部) 個人総合 優秀賞 ○ ○ ○

